

専攻科福祉専攻(介護福祉士養成課程)への思い

「卒業してからの私」

私は、専攻科福祉専攻 15 回生の丸地未紗です。

私は、卒業後、介護に行きたかったのですが、腰の手術をした為、一般企業に勤務しています。

私にとっては専攻科福祉専攻の 1 年は、とても思い出に残っています。中でも、腰の手術をした際には、わざわざ名古屋まで大林先生がお見舞いにきてくださったこと、今でも忘れません。

寝たきりだった私が 1 日どのように過ごしているのか、精神的な面を気づかせてくださったことは、今でも忘れません。学生みんなが仲良しで、今でも、連絡を取り合うたびに、専攻科福祉専攻のつながりを嬉しく思います。とても充実した 1 年間だったと思います。1 年間では足りないくらいとても楽しかったです。

今は、コロナ禍で学外演習などはできないと思いますので、きっと、ご苦労されていると思います。

先日は、福祉の集いに参加して、また皆さんで会えることが楽しみになりました。

専攻科福祉専攻がなくなるのは、寂しいですが、私たちの先生になってくれてありがとうございました。

20 年間、本当にお疲れ様でした。専攻科の最後の在校生の皆さん、最後を飾ってくれてありがとうございました。

2022 年 3 月

15 回生 丸地未紗